

北海道・黒竜江省友好提携30周年の覚書

日本国北海道と中華人民共和国黒竜江省とは、両地域の長期的かつ安定的な交流と協力を発展させるため、1986年6月13日に友好提携を締結した。

この30年間、両地域の交流は、農林水産業における技術交流に始まり、教育・文化・スポーツ、医療、建設、経済、環境などの分野に拡大し、多くの成果を収めてきた。

また、近年は、青少年による相互訪問やインターネットを活用した交流事業を新たに開始するなど、将来を担う両地域の若者の交流に積極的に取り組んできた。

双方は、これまで積み重ねてきた様々な交流と協力に資する努力と成果を高く評価する。

本年、両地域の友好提携が30周年を迎えるに当たり、双方は、友好の信念を大切にし、互惠協力を堅持しながら草の根交流の大切さを認識するとともに、友情と信頼を一層深め、次の事項について、更なる交流と協力を促進することにより、相互利益の拡大と、日中両国の親善に貢献することを誓い、本覚書を取り交わすこととする。

記

一 双方は、常に連絡を密にし、自然災害などの困難に直面した場合でも、的確な情報伝達に努めるなど、友好の精神に基づき支え合うこと。

二 双方は、将来を担う若い世代を対象に、これまで進めてきた文化やスポーツ交流に加え、インターネットによる新たな交流の場を活用するなど、両地域の橋渡し役となる人材の育成に努めること。

三 双方は、経済、観光、環境、科学技術及び医療・福祉分野などでの情報交換や人的交流を促進し、両地域間の積極的かつ実質的な交流の拡大に向けて努力すること。

四 双方は、大学などの教育機関や企業、民間団体の協力のもと、住民レベルでの交流を一層促進することにより、地域の課題解決や、学術、文化、教育などの充実と発展に向けて努力すること。

2016年11月18日

中華人民共和国黒竜江省にて

日本国
北海道知事

中華人民共和国
黒竜江省人民政府副省長

